



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation  
公益財団法人鳥取県国際交流財団

# とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鳥取国際通讯

No. **115**  
Sep. 2015



写真「私費外国人留学生奨学金授与式」  
Scholarship awarding ceremony for privately-funded international students  
自费外国留学生奖学金颁发式

## 目次 Contents 目录

特集 1				
「活躍! 専門通訳ボランティアを追う!」	02-03	国勢調査協力の案内	05	英語版・中国語版ダイジェスト
		国際交流団体の紹介	06	08-09
特集 2		・Toriフレンドnetwork		Information in English and Chinese
「私費外国人留学生奨学金制度の紹介」	04	・鳥取県栄養士国際交流同好会		・TPIEF Bulletin
TPIEFだより	05	鳥取県に暮らす	07	・Feature
・多文化共生のまちづくりフォーラム、 国際交流フェスティバル開催のご案内		・あなたの子育て事情を聞かせて!		“Update on Specialized Volunteer Interpreters”
		JICAデスクよりお知らせ	07	・Living in Tottori
				“Tell us what it's like raising children!”
				・生活 in 鳥取之 「傾聴有关保育事业的现状!」
				図書情報等
				10

活躍!!

・「困ったことが起きた時に言葉が通じない!」を解決◎

・より快適で安心な鳥取の暮らしをサポート!

せん もん つう やく

# 専門通訳ボランティアを追う!

もしあなたが言葉の分からない国で病気になったり、困ったことが起こったらどうしますか? 財団では、言葉の問題を解決するために「専門通訳ボランティア制度」を設け、「医療通訳ボランティア」と「コミュニティ通訳ボランティア」を派遣しています。鳥取県内にお住まいの外国出身者、または医療・保健機関、学校や保育園、行政機関などから要請があれば、専門通訳ボランティアを派遣し、対応します。

今回は、この制度で活動されているボランティアの方々が日ごろからどのような活動をし、通訳ではどのように対応しているかについてご紹介します。



## 通訳ボランティアとして活動した日の様子

医療通訳の場合

財団が外国出身者や機関から事前に通訳者を必要とする依頼を受け、医療通訳ボランティアに連絡します。医療通訳ボランティアは、通訳する内容について調べるなどして、通訳に備えます。そして、当日を迎えます。



## 実際に活動されている方々に、日ごろの活動の様子やそれぞれの思いを聞きました!



英語 <sup>しばた かず</sup> 柴田 和さん

通訳依頼を受けると、依頼された方の来院目的をもとに、現場での会話内容、病名や症状、医療機器等について想像を膨らませて英語表現の事前準備をします。実際、初めての現場では英語知識のない病名や医療器具にでくわし、その場で何回か辞書にお世話になりました。これは事前準備をする上で貴重な経験になりました。また、月一回の医療通訳ボランティア自主勉強会(医療現場を想定した医師と患者のロールプレシナリオの英訳)への参加を通して、現場の様々な状況や英語表現、専門英語などについて

医療通訳ボランティア・コミュニティ通訳ボランティア

を学んでいます。これは現場での対応方法や語彙の積み上げ等に大変有益なものとなっています。

私にとって、依頼者からいただく「アリガトウ」のひとつが活動の支えになっています。

これからもこの活動を通して少しでもお役に立てればと思います。



▲自主勉強会の様子





中国語 <sup>すずき きょうか</sup> 鈴木 京花さん

医療通訳ボランティア・コミュニティ通訳ボランティア

専門通訳ボランティアの活動は責任感を要する仕事なので、日ごろから医療通訳専門の本を読んだりするようにしています。また、自分自身が病院に行く前にも「ここは通訳の現場」と思いながら練習するようにしています。

医療通訳とコミュニティ通訳とは、臨むときの準備の違いも少しあるように感じます。医療通訳の場合、事前に専門用語を調べます。それから依頼者に満足してもらえるような信頼感、丁寧さ、安心感を与えられるように心がけています。コミュニティ通訳の場合は、通訳する人の立場やその日の内容をできるだけ把握

するように努めています。それから両方に大事なことですが、当日遅れないために行き先となる場所は予め調べるようにします。

私の場合、私自身が地域に住む外国出身者で、病気や不幸などがあれば困ることもあります。そのため、地域の役場などと連携を図りながら、地域貢献していきたいといつも感じています。

今はこのような制度を活用して翻訳や通訳ができる便利な時代です。しかし、その中で人と人の繋がり、「心」が最も大事なことです。私も心を伝える通訳者を目指していきたいです。まだまだ通訳者として半人前ですが、訓練し続け、経験を積んでいきたいと思っています。



英語 <sup>ささま まさのり</sup> 笹間 政典さん

医療通訳ボランティア・コミュニティ通訳ボランティア

医療通訳、コミュニティ通訳共に制度が始まった時から登録していますが、西部は派遣要請が少ないようで私の活動実績もあまり多くはありません。

通訳では、たとえしどろもどろになったり、聞き取れなかったりしても、ごまかさないのでできるだけ正確に訳すことを心がけています。そのためにわからないときは何度でも聞き返します。

西部地域では、1~2ヶ月に1回、不定期に通訳の練習をしているグループがありますので、それに参加して、通訳慣れするようにして

います。これは医療通訳のような専門的なことではありませんが、日頃から通訳の練習を重ねていることで、度胸が付き、聞き返すのが苦にならなくなっているのではな

いかと思っています。これからも機会を見つけて練習を積み重ねていき、コミュニケーションで困っている人の役に立ちたいと考えています。



▲通訳練習の様子

## ■ 専門通訳ボランティアの主な派遣先

【医療通訳】…病院、医療・保健機関など 【コミュニティ通訳】…学校、保育園、幼稚園、行政機関、免許センターなど

## ■ 派遣状況(平成26年度)

	派遣件数	主な内容
医療通訳ボランティア	203件	診察、妊娠・出産・育児に関すること、予防接種など
コミュニティ通訳ボランティア	44件	学校の保護者懇談、保育園の入園説明など

## ■ 利用者の声

### 医療通訳

通訳者がいることで外国出身者の日本での生活がしやすくなるので、ぜひ続けてほしい。

外国の方が受診されるケースが増えており、特殊な医療制度の説明は職員だけでは難しいので大変ありがたかった。対応言語の種類が増えたと更にありがたい。

言葉だけでなく、心の通訳までしていただいたように感じた。

町教育委員会や小学校からの説明というのは難しい言葉もあるので、通訳をしてもらうことでよく伝わった。

### コミュニティ通訳

通訳の方が終始とにりにいてくれることで、不安を取り除くことができたようだ。

この制度がなければ、妻は参観日に参加もできず、子どもも一人で淋しかったと思う。通訳者は本当に良かったと思う。説明してくれて本当に感謝している。

## ■ 専門通訳ボランティア制度は、こんな制度です!

Q.だれが依頼できるの?

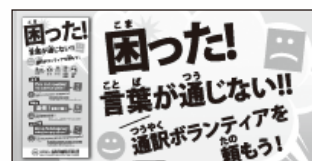
A.県内在住の外国出身者、医療・保健機関、学校・教育委員会、保育園・幼稚園および行政機関

Q.どんな人が通訳をするの?

A.通訳のトレーニングを受けた通訳ボランティアです。秘密は必ず守ります!

Q.料金は?

A.通訳ボランティア派遣にかかる交通費・謝金は財団が負担します。



※そのほかご不明な点は、最寄りの財団事務所までお問い合わせください。

※財団ホームページから、パンフレット、派遣依頼書、報告書のダウンロードができます。http://www.torisakyu.or.jp/


# 私費外国人留学生奨学金制度の紹介

財団では、県内の大学等に在籍する私費外国人留学生（11名）に対し月額2万円の奨学金を支給し、勉学生活を支援するとともに、奨学生には「国際交流ボランティア」として当財団や地域の国際交流活動に貢献していただいています。

また、これとは別に平成26年度から「環日本海交流地域」枠（4名）を設け、鳥取県と交流を進めている環日本海交流地域（韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、平成27年度から中国河北省、ロシア・ハバロフスク地方を追加）出身の私費外国人留学生に対し一般奨学生と同様に月額2万円の奨学金を支給しています。奨学生には地域の国際交流活動に貢献していただくとともに、帰国後も鳥取県と当該地域との交流の架け橋となっていただくよう期待しています。今号では一般枠の奨学生に決定した11名を紹介します。


## 今年度の奨学生を紹介します。

質問の内容 ①氏名 ②出身地 ③所属




① **于 超**  
②中国、遼寧省 ③鳥取大学 地域学部

留学生として日本人や他の外国出身者と交流を深めたい。帰国後は算数の教師になりたいです。




① **辺 帥**  
②中国、天津市 ③鳥取大学 地域学部

中国語を必要とする活動に積極的に参加したいです。




① **袁 敏儀**  
②中国、香港 ③公立鳥取環境大学 経営学部

国際交流活動に参加して色々な国の人と話したいです。




① **鄧 海琳**  
②中国、山東省 ③鳥取大学 地域学部

国際交流活動と研究に力を注ぎたいです。




① **孟 琦**  
②中国、黒竜江省 ③公立鳥取環境大学 環境学部

これからもより多くの人たちに中国の文化を紹介したいです。




① **高 琪**  
②中国、黒竜江省 ③鳥取大学 連合農学研究科

国際交流活動をがんばりたいです。今年秋に行われる学術大会では発表者として参加します。




① **劉 文龍**  
②中国、河南省 ③公立鳥取環境大学 経営学部

交流活動に積極的に参加します。




① **黄 成龍**  
②中国、山東省 ③鳥取大学 工学部

国際交流活動に積極的に参加し、日中友好交流に貢献したいです。




① **楊 瑞琳**  
②中国、遼寧省 ③公立鳥取環境大学 環境学部

交流活動に参加しながら、日本の礼儀や文化を習いたいです。



① **カイ イン モン**  
②ミャンマー、ヤンゴン市 ③鳥取大学 医学系研究科

日本語と日本文化を学びたいです。ミャンマーの文化も紹介していきたいです。



① **王 睿京**  
②中国、遼寧省 ③公立鳥取環境大学 経営学部

国際交流活動に通訳として参加していきたいです。

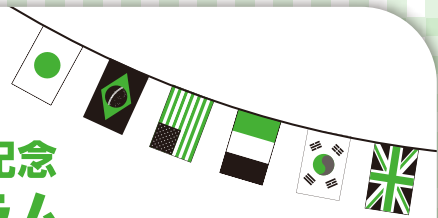
## 奨学生決定書授与式の様子

授与式は、6月下旬から7月初旬に分けて行いました。留学生たちは、緊張した表情を浮かべながら決定書を受け取っていました。

当日は改めて本奨学金支給制度の趣旨について理解を深め、留学生ひとりひとりが国際交流活動に尽力するよう決意を新たにしました。



# 開催のお知らせ



## 公益財団法人鳥取県国際交流財団設立25周年記念 多文化共生のまちづくりフォーラム

多様な文化や背景を持つ人々が地域住民として、共に尊重し合いながら生活していくためにはどうすればいいのでしょうか。地域に住む外国出身の方々とともに今後のまちづくりについて考えるフォーラムを県内3地域で開催します！ぜひお誘いあわせの上、お越しください。

**日時** 11月21日(土) 13:30～ **会場** 鳥取市総合福祉センター さざんか会館

**基調講演** 特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪 代表 田村 太郎氏



### 講師プロフィール

兵庫県伊丹市生まれ。高校卒業後、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南米などを旅する。在日フィリピン人向けレンタルビデオ店で勤務等を経て、1995年1月阪神大震災直後に外国人被災者へ情報を提供する「外国人地震情報センター」の設立に参加。同年10月、「多文化共生センター」への組織変更に伴い事務局長に就任、2004年3月まで同センター代表を務めた。総務省「地域における多文化共生推進研究会」構成員として、2006年3月に同省がまとめた「多文化共生推進プラン」の策定に参画するなど、外国人が直面する課題対応のための地域社会変革の仕組み作りを提案し続けている。2011年3月

東日本大震災を受けて、被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)、スペシャルサポートネット関西の発足に関わり、それぞれ代表幹事、世話人を務める。また内閣官房企画官に就任し、被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案にも携わっている。東日本大震災を受けて内閣官房に発足した「震災ボランティア連携室」で企画官に就任。被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案に携わった。2012年2月より復興庁上席政策調査官(非常勤)。

\*中部会場は平成28年1月24日(日)、西部会場は平成28年1月31日(日)に開催予定です。  
詳細は次号の国際通信でお知らせします。(東部会場とは内容が異なります)

## 国際交流フェスティバル

### よなご国際交流フェスティバル 西部

日時: 9月21日(月・祝) 11:00~15:00  
会場: 米子市文化ホール  
(イベントホール、オープンスペースほか)

### くらしよ国際交流フェスティバル2015 中部

日時: 12月6日(日) 10:00~15:00  
会場: 伯耆しあわせの郷

### 第27回 タイムフェスティバル 東部

日時: 11月23日(月・祝) 11:00~15:30  
会場: とりぎん文化会館

### 国勢調査 2015

## 国勢調査にご協力ください。

今年には5年に1度の国勢調査が実施されます。

対象は日本に住むすべての人及び世帯で、ふだん日本に住んでいるかであれば、外国籍のかたも調査の対象となります。

今回の調査では、先にインターネットでのご回答をいただき、インターネットで回答されなかった世帯に紙の調査票を配布して調査を行います。

インターネット回答は、9月上旬に調査

員がインターネット回答用IDを配布しますので、9月20日までにパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどからインターネットにアクセスしてご回答ください。

調査の結果は未来の日本の方向性を決める大切なデータとなります。また、調査票の個人情報は厳重に保護され、統計の目的以外には使用しません。

皆さまのご理解とご回答をお願いします。

## 人口予想クイズにチャレンジしよう!



### 問題 「今回の国勢調査でわかる鳥取県の人口は何人でしょう?」

正解に近いかたから順に、3万円相当の県産品など素敵な賞品をプレゼント!

応募方法など、詳しくは県統計課ホームページまたはとりネットモバイルをご覧ください。



※12月公表の概算値を正解とします。

↑携帯コードからアクセスOK.

お問合せ 国勢調査コールセンター(調査について):0570-07-2015 IP電話:03-4330-2015  
県庁統計課(調査またはクイズについて):0857-26-7666